

妙義山

山行日 11月16日(土) 天気: 晴れ 参加者 1名

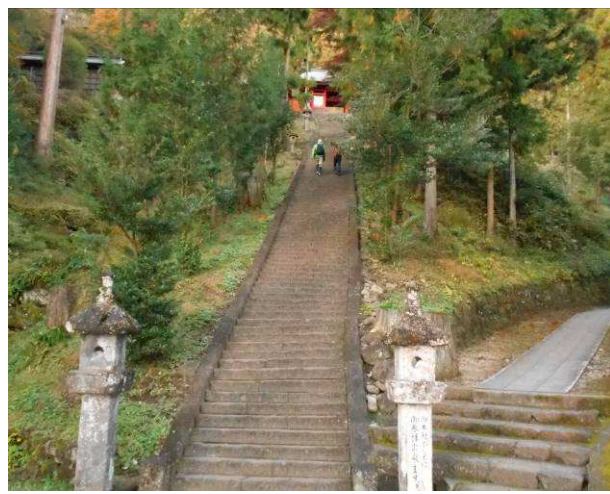
記: SF

コース 市営駐車場(6:15) - 妙義神社(6:25) - 第一見晴(6:45) - 辻分岐(7:25) - 奥の院(7:35) - 見晴台(7:55) - 大のぞき(8:25) - 白雲山(8:55) - 相馬岳(9:25) - 堀切(10:40) - 鷹戻しの頭(11:50) - 第四石門分岐(12:10) - 昼食(30) - 大砲岩分岐(13:00) - ホッキ入口(13:25) - 東屋(14:40) - タルワキ沢出合(14:05) - 第二見晴(14:15) - 第一見晴(14:30) - 妙義神社(14:40)

以前よい気になっていた、妙義山尾根縦走を、行いたいと思い出かけた、前日の夜移動で朝4時位に道の駐車場に、1時間位仮眠の後、市営無料駐車場に移動した、時間が早い为数台の車がすでに止まっていた、たぶん登山者の車と思われる、6時過ぎに日の出になり、辺りが明るくなったので出発した、妙義神社の参道が登山口



急な参道 奥が神社



次に急な石段を登る



妙義神社



神社の左側に行くと中間道の入口に大の字へは、右側に行くと登山口となる今回は中間道を第一見晴まで行く



第一見晴 分岐



正面に大の字 近くに登山者が



辻經由白黒山 分岐より大の字方面の標識



今日最初の鎖場 下りその後横にトラバースする 下は崖 →の部分が登山道



辻分岐に到着 この場所の岩に黄色文字で X マーク危険の表示



分岐より少し登った場所が奥の院



奥の院右側の垂直の壁を登る 約10m
ここから鎖場の始まり



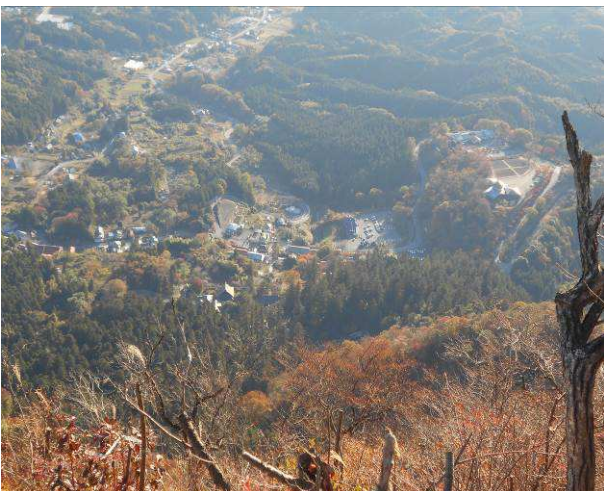
下の鎖を登ると連続で左側にトラバース
のルート鎖はあるが 下は崖



右側が崖 この場所は足がかりがあり
比較的安全な場所



奥の院より鎖場を4回過ぎると見晴台に



この場所からは、道の駅等町及び
妙義神社周辺が見渡せる



次が岩で狭い登山道 途中で左側の岩を
登って行く



ビビリ岩の登り口



ビビリ岩鎖を上から 鎖の場所



玉石 左側より登る



玉石の上からの展望



背ビレ岩 細い尾根ですが 足場の確保は出来る



さらの細くなる尾根 鎖は付いています



大のぞき 下を見るのに注意は必要



今度は長い下り 傾斜はありますが鎖を使用して降りられます



大のぞきの場所を、上から見た



久々の標識



天狗岩 標識はあるが 岩らしき物は見当たらない



タルワキ沢分岐 相馬岳で縦走をやめ中間道へのエスケープルート



注意の標識 相馬岳までは行ける



相馬岳に到着 数名の登山者がいた
バラ尾根に行く人は数名でした



これから向かう 鷹戻し 東岳 中岳



国民宿舎への分岐 現在は休業中



壁沿いの登山道



紅葉が綺麗な沢の登山道



パノラマ台に到着 手前の急騰な岩場には鎖が無い



ホッキリ分岐 中間道へのエスケープルート かなり急な下り



登り難い鎖場



金洞沢出合への分岐



注意書きこの場所より引き返すのは???



鷹戻し最初の鎖



鷹戻しの鎖場は 最初に鎖があり次に
3段の梯子が続き それが終わると
4段の連続した鎖場で 最後が右側の
登山道へトラバースぎみの
鎖が続く
このコースの中でも一番手ごわい場所です





鷹戻しの頭より 東岳 中岳
近くに見えます



鷹戻し頭よりの鎖場 途中岩がオーバーハング
していて下が見えない



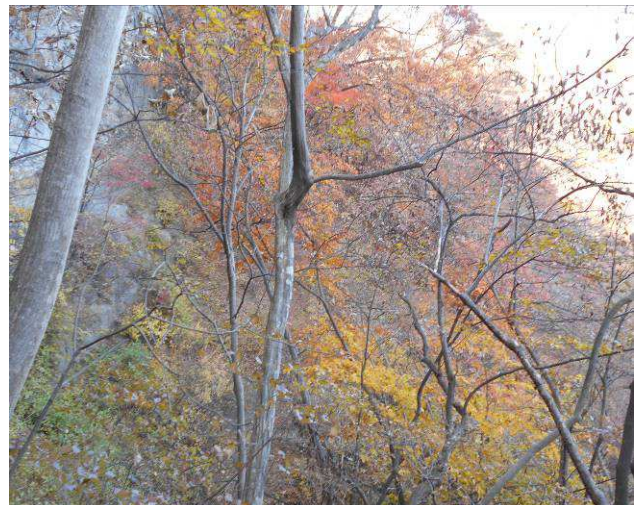
東岳、中岳へ行くのを止め途中第四石門への
エスケープルートを下山し中間道へ合流
大砲岩です



ここから中間道を妙義神社に戻る



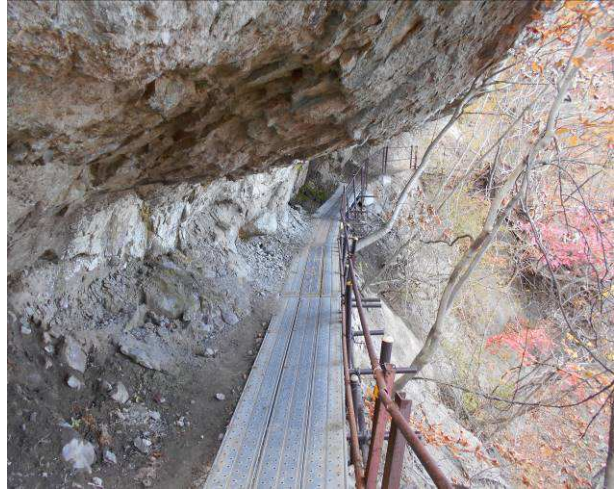
途中岩の下を通るルート 頭に注意



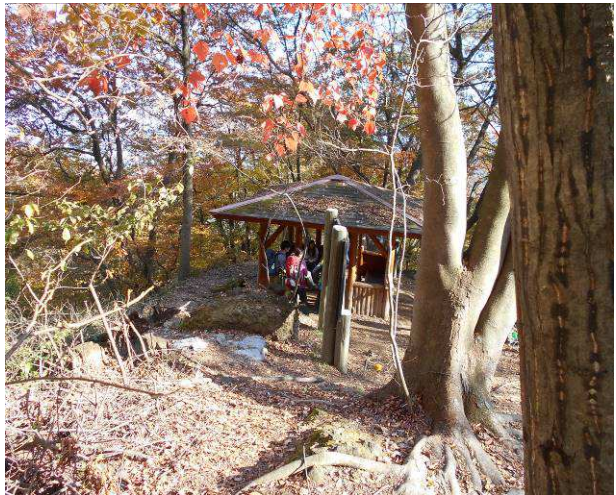
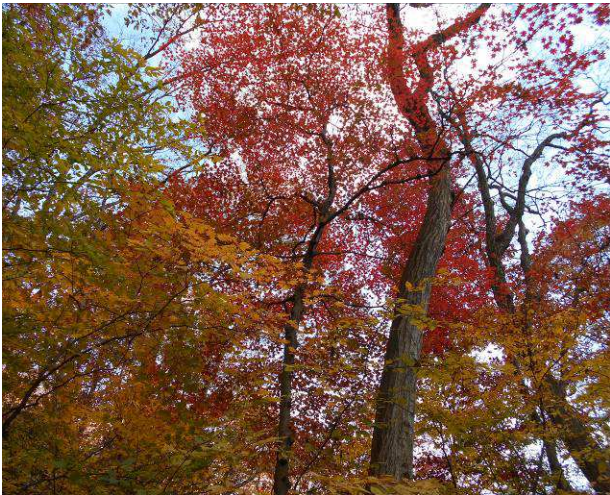
紅葉がすこし進んでいる



鉄の階段 かなり長い 今回は逆コースなので下りですが 妙義神社よりの場合は登りとなる



先ほどよりさらに岩が出ている場所



途中に東屋があり 登山者が休憩していた



相馬岳手前のタルワキ沢の入り口 ここから尾根までは、登り 70 分 下り 45 分 見た感じ コースは少し荒れている様です



途中に新しい階段がこれもかなり長い



第二見晴に ここより50m位先が見晴の場所になる



第一見晴へ 大の字分岐の少し手前



朝はこの分岐を大の字方面へ



妙義神社に到着 今夜の宿 東雲館はこの参道の途中にある



この写真は翌日碓氷湖での紅葉